

平成 30 年度 第 2 期 実務実習連絡会議

平成 30 年 12 月 22 日 (土)

城西大学

— 目次 —

1.	平成 30 年度 2 期実習施設数および学生数	3
2.	平成 30 年度 2 期実習管理方法（実習日誌作成方法）	3
3.	実習実施薬局（72 施設）	4
4.	実習実施病院（31 施設）	5
5-1	薬局実習の形成的評価 学生と指導薬剤師の比較	6
2	学生の自己評価が低くかつ学生の自己評価と指導薬剤師の評価に差がある LS	7
3	薬局実習の形成的評価 H26-H30 年度の各 2 期「学生の自己評価」推移	8
4	薬局実習の形成的評価 H26-H30 年度の各 2 期「指導薬剤師の評価」推移	9
5	薬局実習 SBO 達成率および施設間格差（平成 30 年度 2 期）	10
6	薬局実習で学生が達成できていないと感じている SBO（平成 30 年度 2 期）	11
6-1	病院実習の形成的評価 学生と指導薬剤師の比較	12
2	病院実習の形成的評価 H26-H30 年度の各 2 期「学生の自己評価」推移	13
3	病院実習の形成的評価 H26-H30 年度の各 2 期「指導薬剤師の評価」推移	14
4	病院実習で学生が達成できていないと感じている LS（平成 30 年度 2 期）	15
5	病院実習 SBO 達成率および施設間格差（平成 30 年度 2 期）	16
6	病院実習で学生が達成できていないと感じている SBO（平成 30 年度 2 期）	17
7-1	平成 30 年度 2 期成績分布	18
2	平成 22 年度から平成 30 年度各 2 期の成績比較	19
8-1	実習態度（平成 30 年度 2 期）	20
2	実習態度推移（平成 22 年度から平成 30 年度の各 2 期の比較）	21
3	減点の多い学生の詳細な成績（平成 30 年度 2 期）	23
9.	実習中のトラブル事例（平成 30 年度 2 期）	24

1. 平成 30 年度 2 期実習施設数および学生数

	病院	薬局	合計
実習施設数	31	72	103
実習開始学生数	71	78	149
実習不可学生数	0	0	0
実習態度チェック票集計数	71	73	144

2. 平成 30 年度 2 期実習管理方法（実習日誌作成方法）

		病院	薬局	合計	web利用率
施設数	手書き施設数	0	1	1	99.0%
	ウェブ利用施設数	31	71	102	
学生数	手書き学生数	0	1	1	99.3%
	ウェブ利用学生数	71	77	148	

3. 実習実施薬局（72 施設）

あおぞら薬局清水町店
あおぞら薬局長瀬店
青葉薬局
アカネ薬局 2 号店
上尾クローバ薬局
あさひ調剤薬局中央店
薬局アポック三芳店
薬局アポック上福岡西口店
薬局アポック川越店
アポック日高センター前薬局 1 号店
アポック毛呂岩井薬局
入江薬局 本店
梅田調剤薬局
大沢調剤薬局本町店
かくの木薬局
カネヨ薬局徳丸店
川口薬剤師会センター薬局
クオール薬局あらじゅく店
クオール薬局ユーカリ店
クオール薬局ララ 2 号店
クオール薬局兜町店
クオール薬局宮寺店
クオール薬局西宮下店
クオール薬局石神井店
クオール薬局川越今福店
クオール薬局川越店
クオール薬局日本橋店
くりの木薬局
クローバ薬局本店
コイケ薬局プラスワン
こま薬局
(有) サイトウ薬局
さくら薬局所沢東口店
さんあい薬局
サンドラッグ川口東本郷薬局
城西大学薬局

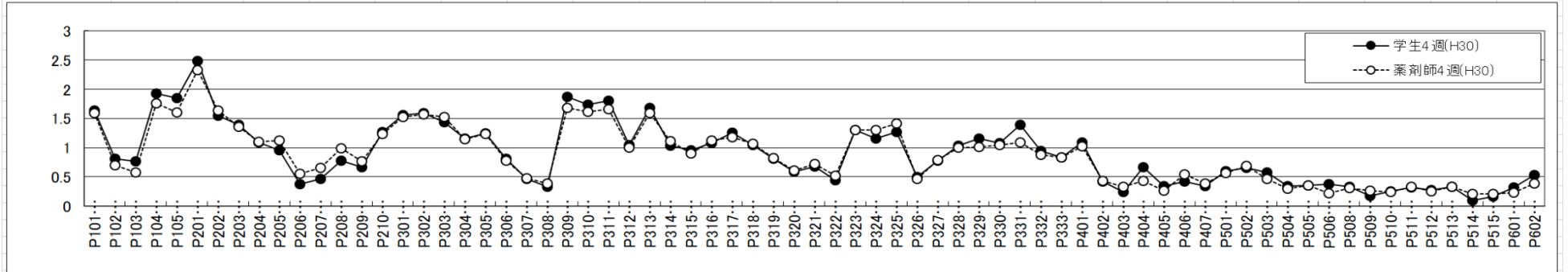
城西大学薬局毛呂本郷店
新お茶の水薬局
鈴木薬局
鈴木薬局新富町店
すずらん薬局駅前店
関口りんどう薬局
そうごう薬局五香店
たから薬局上福岡店
中央薬局 国分寺店
つばさ薬局（東松山市）
ともえ薬局
ナイス薬局新富町店
中浦和薬局
ハートフルファーマシー
ハーブ薬局
八王子薬剤センター駅前薬局
薬局氷川
ファルマプリベ薬局
有限会社フジモリ薬局
有限会社ふれあい薬局（飯能市）
ホーム薬局
ぽぷら薬局
ほまれ薬局
ぼらりす薬局
マロン薬局子安店
マロン薬局新町店
みさき薬局
薬樹薬局越谷
薬樹薬局東平
やまと薬局
ゆかり薬局
ユニコ調剤薬局
横川町薬局
よこて薬局
寄居薬剤師会薬局
らんざん薬局

4. 実習実施病院（31 施設）

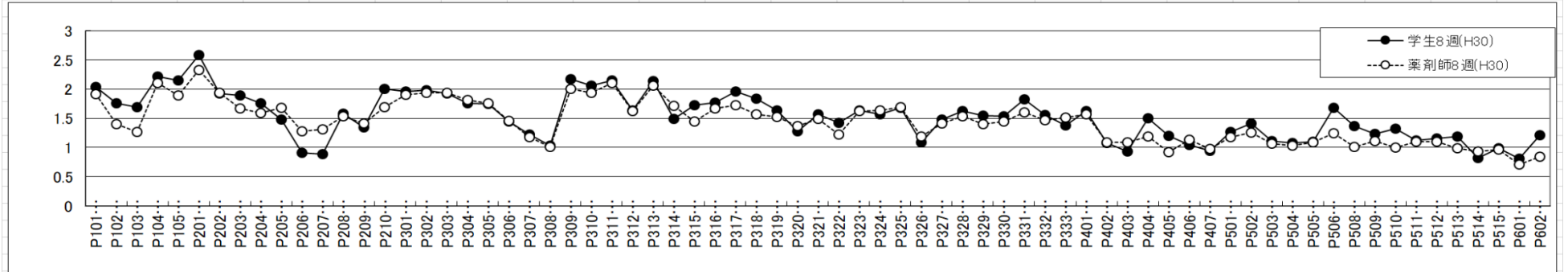
医療法人社団栄悠会 綾瀬循環器病院
公益財団法人 井之頭病院
小川赤十字病院
川口市立医療センター
新都市医療研究会関越会 関越病院
北杜市立甲陽病院
社会福祉法人恩賜財団済生会埼玉県済生会栗橋病院
医療法人社団美心会 黒沢病院
群馬大学医学部附属病院
社会医療法人社団 江東病院
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
埼玉医科大学病院
埼玉医科大学総合医療センター
埼玉医科大学国際医療センター
社会医療法人刀仁会 坂戸中央病院
自治医科大学附属さいたま医療センター
医療法人秀和会 秀和総合病院
セコメディック病院
医療法人社団幸悠会 所沢慈光病院
獨協医科大学病院
成田赤十字病院
新座志木中央総合病院
埼玉医療生活協同組合 羽生総合病院
東明会原田病院
公益法人東松山医師会 東松山医師会病院
東埼玉病院
東松山市立市民病院
深谷赤十字病院
社会医療法人社団大成会 武南病院
地方独立行政法人 山梨県立病院機構 山梨県立北病院
国立大学法人 山梨大学医学部附属病院

5-1 薬局実習の形成的評価 学生と指導薬剤師の比較

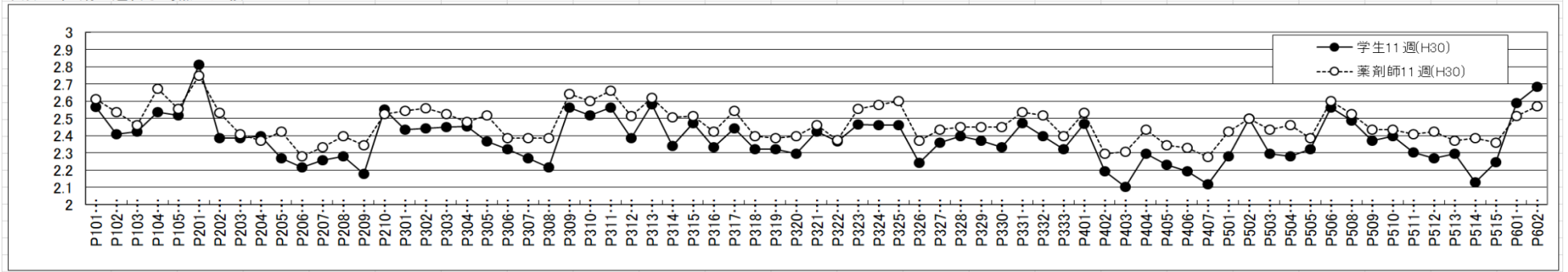
平成30年2期4週終了時点の比較



平成30年2期8週終了時点の比較



平成30年2期11週終了時点の比較

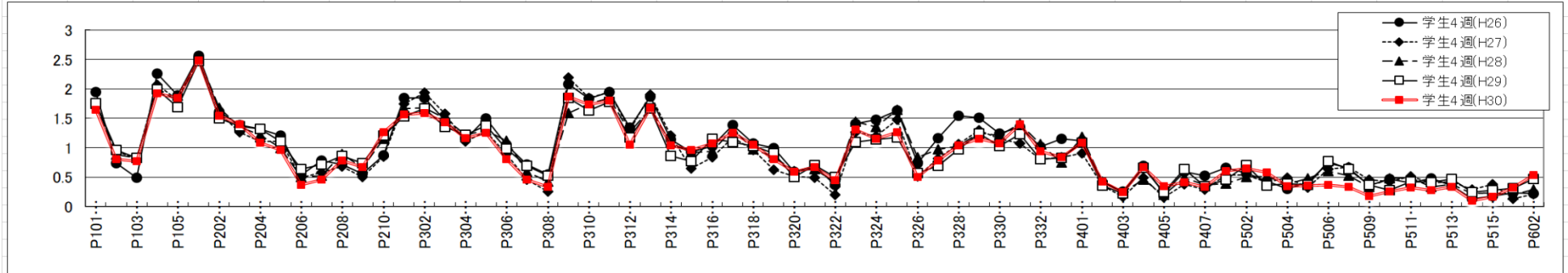


5-2 学生の自己評価が低くかつ学生の自己評価と指導薬剤師の評価に差があるLS

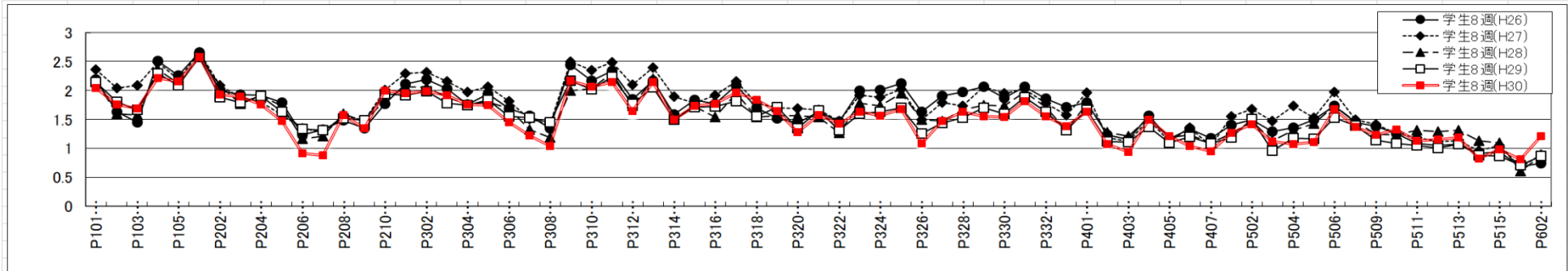
学生評価	学生-指導薬剤師	LS	LS内容
2.13	-0.26	P514(68)	話題性のある薬物および健康問題について、科学的にわかりやすく説明できる。
2.10	-0.21	P403(51)	医師への受診勧告を適切に行うことができる。(技能・態度)
2.28	-0.18	P504(59)	当該地域における休日、夜間診療と薬剤師の役割を説明できる。
2.18	-0.17	P209(14)	入手した患者情報を、必要に応じ、適正な手続きを経て他の医療従事者に提供できる。(技能・態度)
2.22	-0.17	P308(23)	疑義照会事例を通して、医療機関との連携、患者への対応をシミュレートする。(技能・態度)
2.12	-0.16	P407(55)	疾病の予防および健康管理についてアドバイスできる。(技能・態度)セルフメディケーションのための一般用医薬品・医療用具などを適切に選択・供給できる。(技能)医師への受診勧告を適切に行うことができる。(技能・態度)患者・顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる。
2.27	-0.15	P205(10)	緊急安全性情報、不良品回収、製造中止などの緊急情報の取り扱い方法を説明できる。
2.27	-0.15	P512(66)	誤飲、誤食による中毒および食中毒に対して適切にアドバイスができる。(知識・技能)
2.28	-0.14	P501(56)	訪問薬剤管理指導業務について説明できる。在宅医療における医療廃棄物の取り扱いについて説明できる。
2.29	-0.14	P404(52)	セルフメディケーションのための一般用医薬品、医療用具、健康食品などを適切に選択・供給できる。(技能)
2.29	-0.14	P503(58)	病院薬剤師と薬局薬剤師の連携の重要性を説明できる。
2.19	-0.14	P406(54)	顧客が自らすすんで話ができるように工夫する。(技能・態度)顧客が必要とする情報を的確に把握する。(技能・態度)顧客との会話を通じて使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集できる。(技能・態度)入手した情報を評価し、顧客に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる。(技能・態度)
2.24	-0.13	P326(41)	調剤報酬を算定し、調剤報酬明細書(レセプト)を作成できる。(技能)
2.23	-0.12	P405(53)	顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる。
2.27	-0.12	P307(22)	疑義照会の行い方を身に付ける。(知識・態度)
2.28	-0.12	P208(13)	入手した情報を評価し、患者に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる。(技能・態度)
2.25	-0.11	P515(69)	日用品に含まれる化学物質の危険性を列挙し、わかりやすく説明できる。誤飲、誤食による中毒および食中毒に対して適切なアドバイスができる。(知識・技能)生活環境における消毒の概念について説明できる。話題性のある薬物および健康問題について、科学的にわかりやすく説明できる。
2.30	-0.11	P511(65)	日用品に係る薬剤師の役割について説明できる。日用品に含まれる化学物質の危険性を列挙し、わかりやすく説明できる。

5-3 薬局実習の形成的評価 H26-H30 年度の各 2 期「学生の自己評価」推移

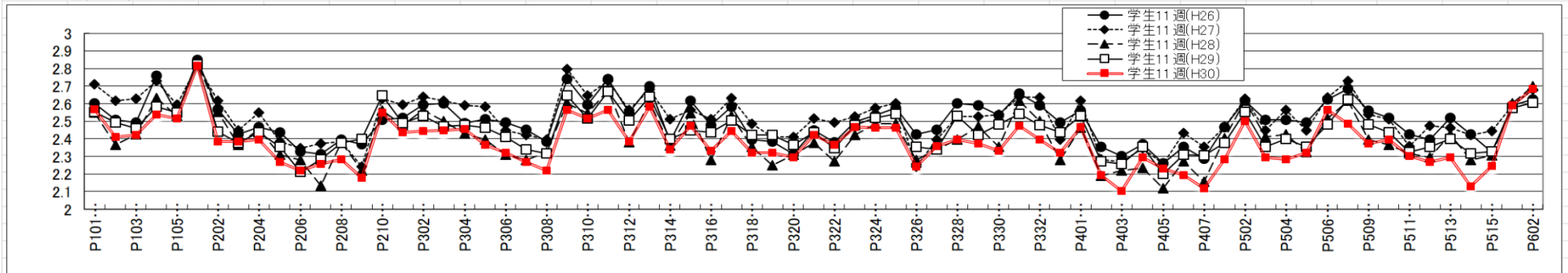
2期の4週終了時点の比較 (H26-30)



2期の8週終了時点の比較 (H26-30)

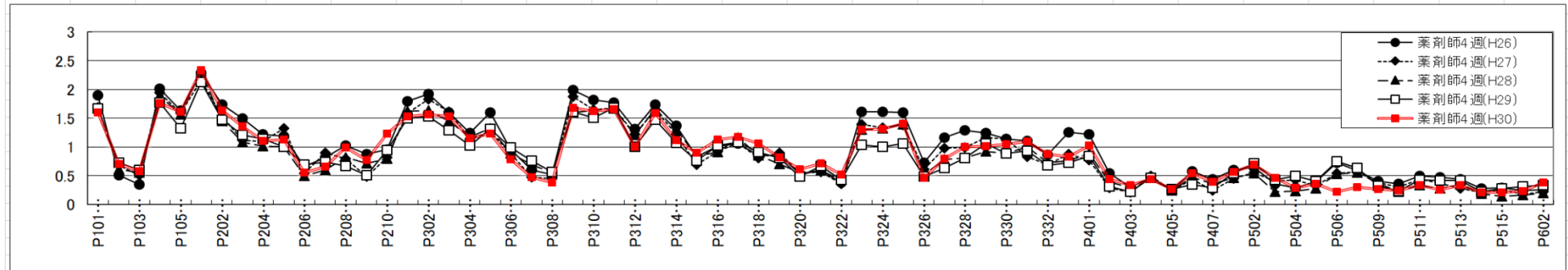


2期の11週終了時点の比較 (H26-30)

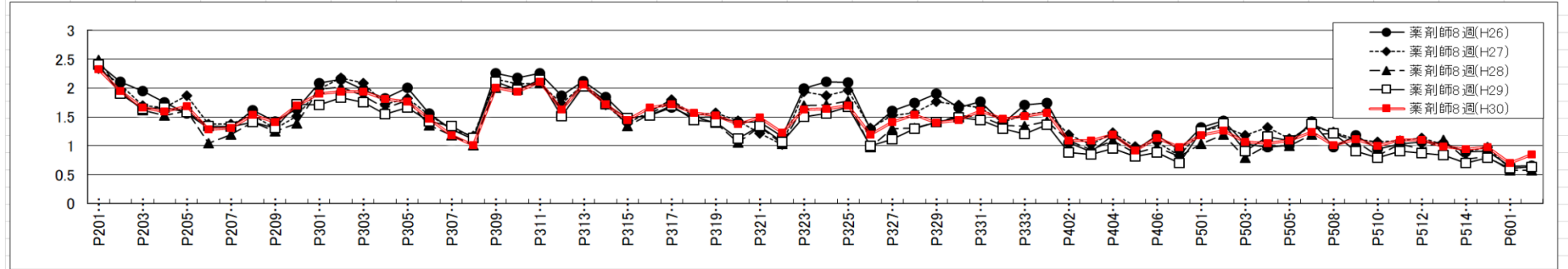


5-4 薬局実習の形成的評価 H26-H30年度の各2期「指導薬剤師の評価」推移

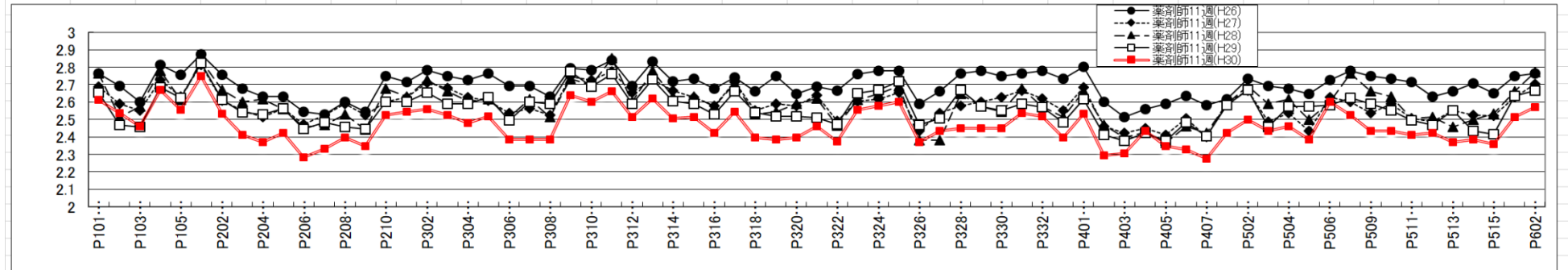
2期の4週終了時点の比較(H26-30)



2期の8週終了時点の比較(H26-30)



2期の11週終了時点の比較(H26-30)



5-5 薬局実習 SBO 達成率および施設間格差（平成 30 年度 2 期）

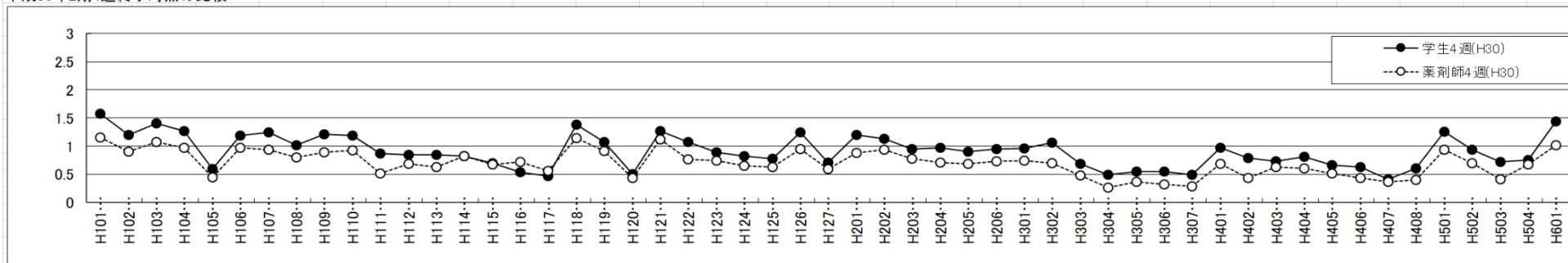
SBO	LS	SBOの内容	低達成率(順位)		施設間格差(順位)	
			学生	薬剤師	学生	薬剤師
19	P206-1	問い合わせに対し、根拠に基づいた論理的な報告書を作成できる。(知識・技能)		3		2
22	P209-1	入手した患者情報を、必要に応じ、適正な手続きを経て他の医療従事者に提供できる。(技能・態度)	8			
37	P307-1	疑義照会の行い方を身に付ける。(知識・態度)			8	
38	P308-1	疑義照会事例を通して、医療機関との連携、患者への対応をシミュレートする。(技能・態度)			6	
55	P314-2	特別な注意を要する医薬品（抗悪性腫瘍薬など）の取り扱いを体験する。(技能)			3	
70	P322-3	患者が必要とする情報を的確に把握し、適切に回答できる。(技能・態度)		7		
71	P322-4	患者との会話を通じて使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集し、必要に応じて対処法を提案する。(技能・態度)		4		
89	P402-1	疾病の予防および健康管理についてアドバイスできる。(技能・態度)	10	6	7	
90	P403-1	医師への受診勧告を適切に行うことができる。(技能・態度)	2	8	1	
92	P405-1	顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる。			5	
93	P406-1	顧客が自らすすんで話ができるように工夫する。(技能・態度)	9			7
94	P406-2	顧客が必要とする情報を的確に把握する。(技能・態度)	7	9		1
95	P406-3	顧客との会話を通じて使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集できる。(技能・態度)				8
96	P406-4	入手した情報を評価し、顧客に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる。(技能・態度)				9
97	P407-1	疾病の予防および健康管理についてアドバイスできる。(技能・態度)	6	5	4	3
98	P407-2	セルフメディケーションのための一般用医薬品・医療用具などを適切に選択・供給できる。(技能)	4	10	9	6
99	P407-3	医師への受診勧告を適切に行うことができる。(技能・態度)	1	1	2	5
100	P407-4	患者・顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる。	3	2		4
116	P514-1	話題性のある薬物および健康問題について、科学的にわかりやすく説明できる。	5		10	
118	P515-2	誤飲、誤食による中毒および食中毒に対して適切なアドバイスができる。(知識・技能)				10

5-6 薬局実習で学生が達成できていないと感じている SBO (平成 30 年度 2 期)

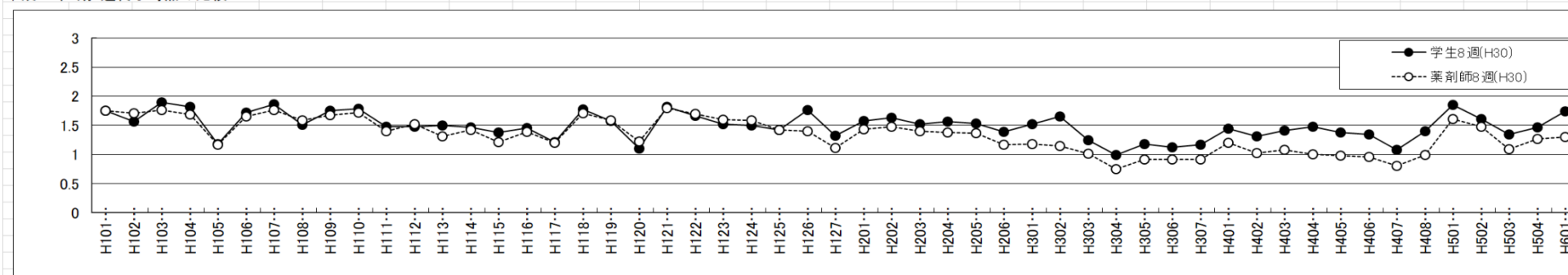
SBO	項目	評価平均
99	医師への受診勧告を適切に行うことができる。(技能・態度)	2.08
100	患者・顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる。	2.12
98	セルフメディケーションのための一般用医薬品・医療用具などを適切に選択・供給できる。(技能)	2.13
116	話題性のある薬物および健康問題について、科学的にわかりやすく説明できる。	2.13
97	疾病の予防および健康管理についてアドバイスできる。(技能・態度)	2.16
94	顧客が必要とする情報を的確に把握する。(技能・態度)	2.17
93	顧客が自らすすんで話ができるように工夫する。(技能・態度)	2.18
22	入手した患者情報を、必要に応じ、適正な手続きを経て他の医療従事者に提供できる。(技能・態度)	2.18
89	疾病の予防および健康管理についてアドバイスできる。(技能・態度)	2.19
55	特別な注意を要する医薬品(抗悪性腫瘍薬など)の取り扱いを体験する。(技能)	2.21
38	疑義照会事例を通して、医療機関との連携、患者への対応をシミュレートする。(技能・態度)	2.21
19	問い合わせに対し、根拠に基づいた論理的な報告書を作成できる。(知識・技能)	2.21
95	顧客との会話を通じて使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集できる。(技能・態度)	2.21
117	日用品に含まれる化学物質の危険性を列挙し、わかりやすく説明できる。	2.21
120	話題性のある薬物および健康問題について、科学的にわかりやすく説明できる。	2.22
96	入手した情報を評価し、顧客に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる。(技能・態度)	2.22
92	顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる。	2.23
20	医薬品・医療用具等安全性情報報告用紙に必要事項を記載できる。(知識・技能)	2.25
78	調剤報酬を算定し、調剤報酬明細書(レセプト)を作成できる。(技能)	2.25
70	顧客が必要とする情報を的確に把握し、適切に回答できる。(技能・態度)	2.25

6-1 病院実習の形成的評価 学生と指導薬剤師の比較

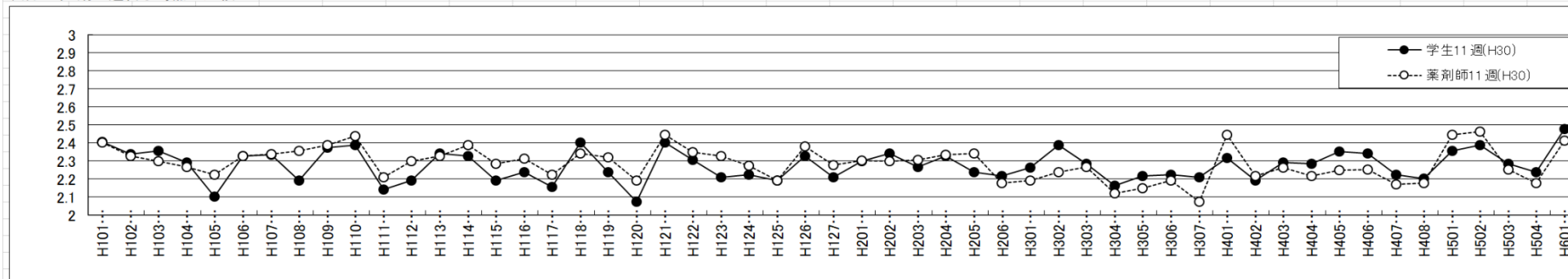
平成30年2期4週終了時点の比較



平成30年2期8週終了時点の比較

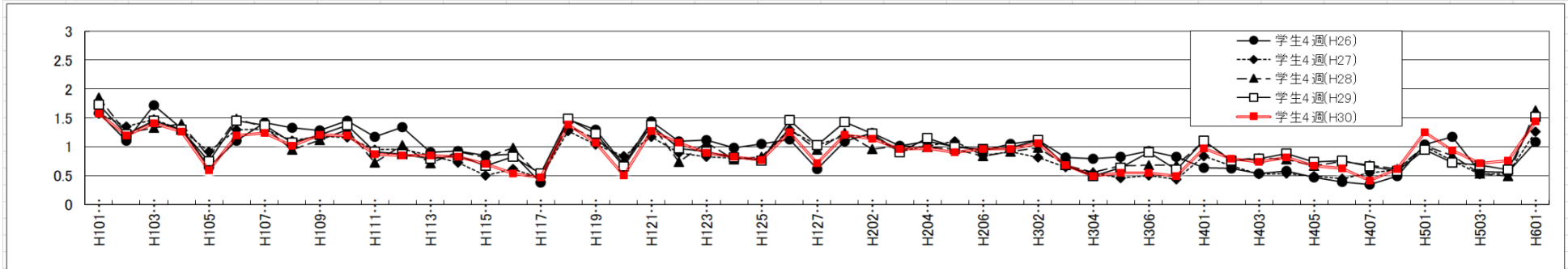


平成30年2期11週終了時点の比較

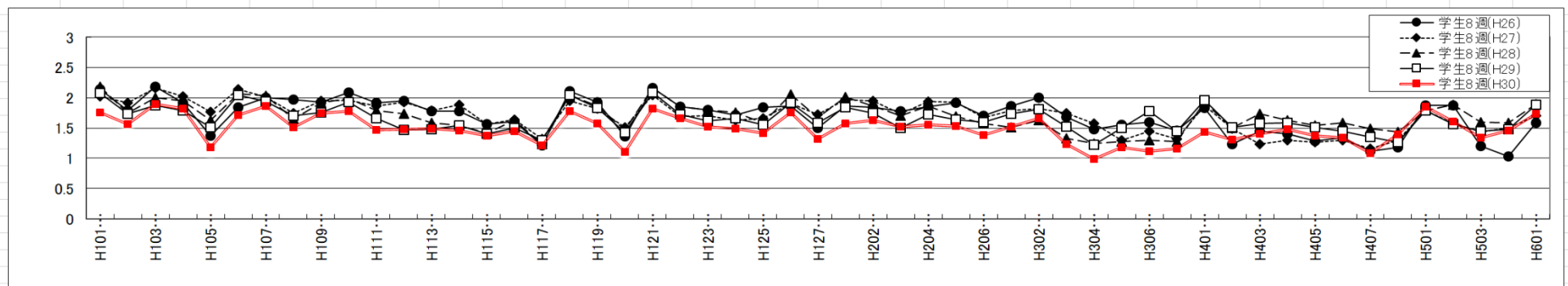


6-2 病院実習の形成的評価 H26-H30年度の各2期「学生の自己評価」推移

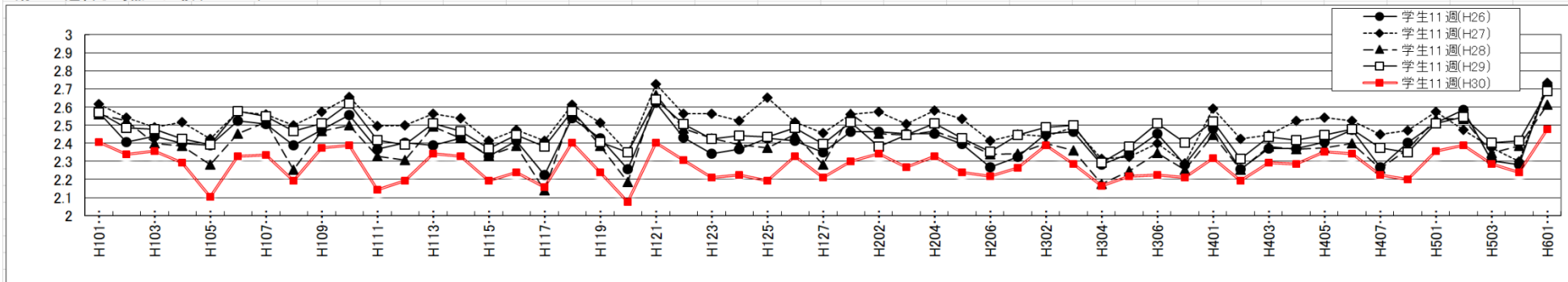
2期の4週終了時点の比較 (H26-30)



2期の8週終了時点の比較 (H26-30)

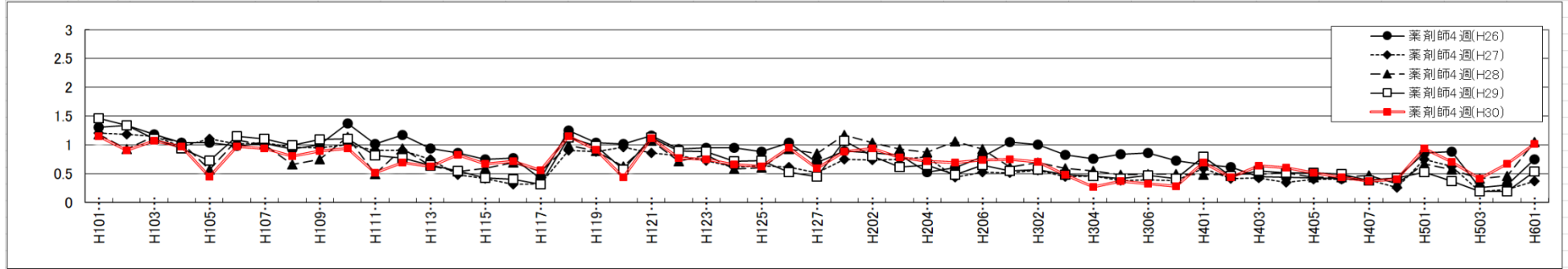


2期の11週終了時点の比較 (H26-30)

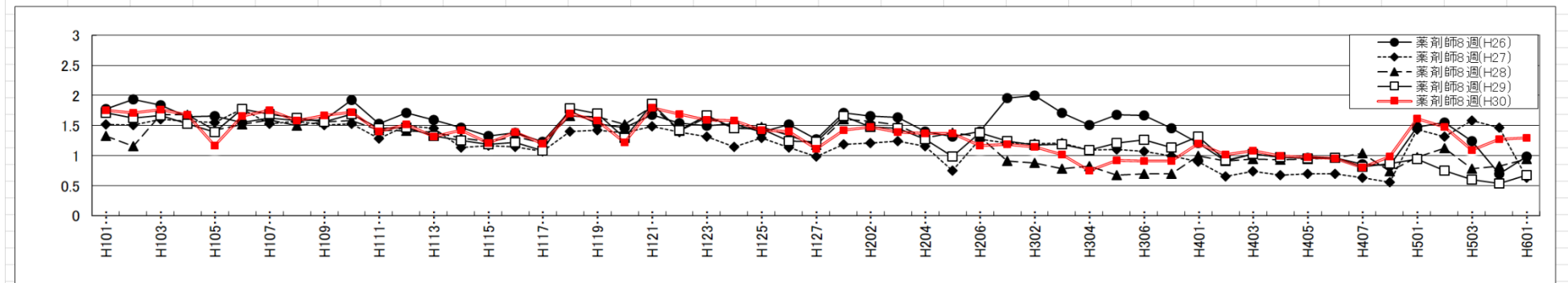


6-3 病院実習の形成的評価 H26-H30 年度の各 2 期学生「指導薬剤師の評価」推移

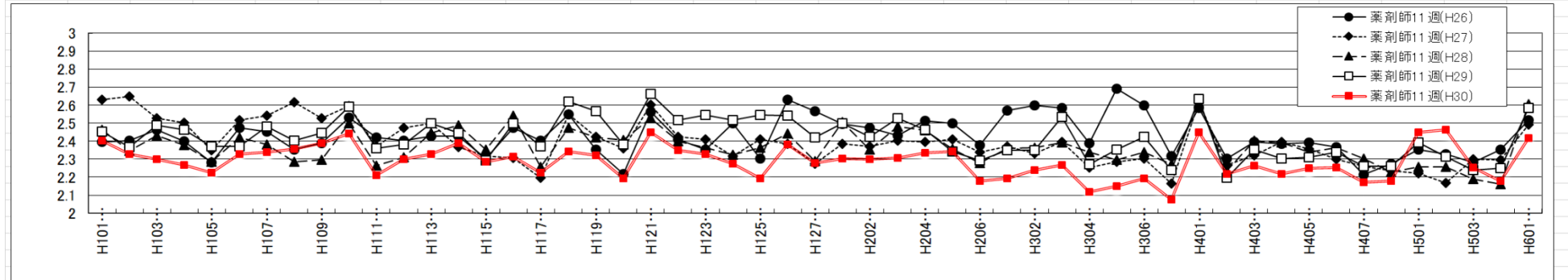
2期の4週終了時点の比較(H26-30)



2期の8週終了時点の比較(H26-30)



2期の11週終了時点の比較(H26-30)



6-4 病院実習で学生が達成できていないと感じているLS（平成30年度2期）

学生評価	LS	LSの内容
2.07	H120(20)	適切な疑義照会の実務を体験する。(技能)
2.10	H105(5)	△ 適切な疑義照会の実務を体験する。
2.14	H111(11)	△ 細胞毒性のある医薬品の調剤について説明できる。 △ 特別な注意を要する医薬品（抗悪性腫瘍薬など）の取扱いを体験する。(技能)
2.16	H117(17)	△ お薬受け渡し窓口において、薬剤の服用方法、保管方法および使用上の注意について適切に説明できる。 △ 期待する効果が十分に現れていないか、あるいは副作用が疑われる場合のお薬受け渡し窓口における適切な対処法について提案する。(知識・態度)
2.16	H304(37)	△ 医薬品・医療用具等安全性情報報告用紙に、必要事項を記載できる。(知識・技能)
2.19	H108(8)	△ 毒薬・劇薬、麻薬、向精神薬などの調剤ができる。(技能)
2.19	H112(12)	△ 錠剤の粉碎、およびカプセル剤の開封の可否を判断し、実施できる。(知識・技能)
2.19	H115(15)	△ 患者に使用上の説明が必要な眼軟膏、坐剤、吸入剤などの取扱い方を説明できる。
2.19	H125(25)	調剤された注射剤に対して、正しい鑑査の実務を体験する。(技能)
2.19	H402(42)	医療スタッフが日常使っている専門用語を適切に使用できる。(技能) 病棟において医療チームの一員として他の医療スタッフとコミュニケーションする。(技能・態度)
2.20	H408(48)	治療方針決定のプロセスおよびその実施における薬剤師の関わりを見学し、他の医療スタッフ、医療機関との連携の重要性を感じとる。(態度) 適正な薬物治療の実施について、他の医療スタッフと必要な意見を交換する。(態度)
2.21	H123(23)	毒薬・劇薬、麻薬、向精神薬などの注射剤の調剤と適切な取扱いができる。(技能)
2.21	H127(27)	△ 医薬品に関わる過失あるいは過誤について、適切な対処法を討議する。(態度) △ インシデント、アクシデント報告の実例や、現場での体験をもとに、リスクマネジメントについて討議する。(態度) △ 職務上の過失、過誤を未然に防ぐための方策を提案できる。(態度) △ 実習中に生じた諸問題（調剤ミス、過誤、事故、クレームなど）を、当該機関で用いられるフォーマットに正しく記入できる。(技能)
2.21	H307(40)	情報提供内容が適切か否かを追跡できる。(技能)
2.22	H206(33)	医薬品の採用と使用中止の手続きを説明できる。 代表的な同種・同効薬を列挙できる。
2.22	H305(38)	医療スタッフからの質問に対する適切な報告書の作成を体験する。(知識・技能) 医療スタッフのニーズに合った情報提供を体験する。(技能・態度)
2.22	H124(24)	細胞毒性のある注射剤の調剤について説明できる。 特別な注意を要する注射剤（抗悪性腫瘍薬など）の取扱いを体験する。(技能)
2.22	H306(39)	患者のニーズに合った情報の収集、加工および提供を体験する。(技能・態度)
2.22	H407(47)	期待する効果が現れていないか、あるいは不十分と思われる場合の対処法について提案する。(知識・技能) 副作用が疑われる場合の適切な対処法について提案する。(知識・態度)

6-5 病院実習 SBO 達成率および施設間格差（平成 30 年度 2 期）

SBO	LS	SBOの内容	低達成率(順位)		施設間格差(順位)	
			学生	薬剤師	学生	薬剤師
1	H101(1)	患者の診療過程に同行し、その体験を通して診療システムを概説できる。	10			
13	H104(4)	△ 薬歴に基づき、処方内容が適正であるか判断できる。		5		
14	H105(5)	△ 適切な疑義照会の実務を体験する。	5		2	
20	H107(7)	△ 代表的な医薬品を色・形、識別コードから識別できる。(技能)			4	4
21	H107(7)	△ 医薬品の識別に色、形などの外観が重要であることを、具体例を挙げて説明できる。			10	
22	H107(7)	△ 代表的な医薬品の商品名と一般名を対比できる。	7			
28	H111(11)	△ 細胞毒性のある医薬品の調剤について説明できる。	2			
29	H111(11)	△ 特別な注意を要する医薬品(抗悪性腫瘍薬など)の取扱いを体験する。(技能)			9	2
30	H112(12)	△ 錠剤の粉碎、およびカプセル剤の開封の可否を判断し、実施できる。(知識・技能)			5	
35	H117(17)	△ お薬受け渡し窓口において、薬剤の服用方法、保管方法および使用上の注意について適切に説明できる。			3	
36	H117(17)	△ 期待する効果が十分に現れていないか、あるいは副作用が疑われる場合のお薬受け渡し窓口における適切な対処法について提案する。(知識・態度)	6	6	7	10
39	H119(19)	代表的な注射剤処方せんについて、処方内容が適正であるか判断できる。(技能)	8			
40	H120(20)	適切な疑義照会の実務を体験する。(技能)	3		1	7
54	H127(27)	△ 実習中に生じた諸問題(調剤ミス、過誤、事故、クレームなど)を、当該機関で用いられるフォーマットに正しく記入できる。(技能)	4	7	8	1
68	H206(33)	代表的な同種・同効薬を列挙できる。		8		
71	H301(34)	△ 緊急安全性情報、不良品回収、製造中止などの緊急情報の取扱い方法について説明できる。		3	6	
75	H304(37)	△ 医薬品・医療用具等安全性情報報告用紙に、必要事項を記載できる。(知識・技能)	9	4		
76	H305(38)	医療スタッフからの質問に対する適切な報告書の作成を体験する。(知識・技能)		2		9
79	H307(40)	情報提供内容が適切か否かを追跡できる。(技能)		1		
93	H405(45)	薬に関する患者の質問に分かり易く答える。(技能・態度)				3
95	H405(45)	代表的な医薬品の効き目を、患者との会話や患者の様子から確かめることができる。(知識・技能)				8
101	H407(47)	副作用が疑われる場合の適切な対処法について提案する。(知識・態度)		9		
103	H408(48)	適正な薬物治療の実施について、他の医療スタッフと必要な意見を交換する。(態度)	1	10		
106	H503(51)	実際の患者例に基づき TDM のデータを解析し、薬物治療の適正化について討議する。(技能・態度)				5
110	H601(53)	患者の健康の回復と維持に薬剤師が積極的に貢献することの重要性を討議する。(態度)				6

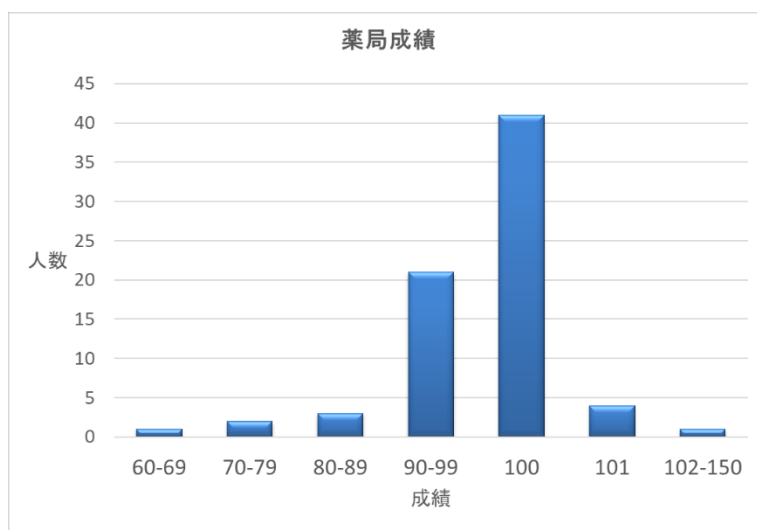
6-6 病院実習で学生が達成できていないと感じている SBO （平成 30 年度 2 期）

SBO	項目	評価平均
103	適正な薬物治療の実施について、他の医療スタッフと必要な意見を交換する。(態度)	2.07
28	△ 細胞毒性のある医薬品の調剤について説明できる。	2.09
40	適切な疑義照会の実務を体験する。(技能)	2.09
54	△ 実習中に生じた諸問題（調剤ミス、過誤、事故、クレームなど）を、当該機関で用いられるフォーマットに正しく記入できる。(技能)	2.10
14	△ 適切な疑義照会の実務を体験する。	2.12
36	△ 期待する効果が十分に現れていないか、あるいは副作用が疑われる場合のお薬受け渡し窓口における適切な対処法について提案する。(知識・態度)	2.12
22	△ 代表的な医薬品の商品名と一般名を対比できる。	2.14
39	代表的な注射剤処方せんについて、処方内容が適正であるか判断できる。(技能)	2.14
75	△ 医薬品・医療用具等安全性情報報告用紙に、必要事項を記載できる。(知識・技能)	2.16
1	患者の診療過程に同行し、その体験を通して診療システムを概説できる。	2.17
23	△ 異なる商品名で、同一有効成分を含む代表的な医薬品を列挙できる。	2.17
65	血漿分画製剤の取扱いを体験する。(技能)	2.17
71	△ 緊急安全性情報、不良品回収、製造中止などの緊急情報の取扱い方法について説明できる。	2.17
21	△ 医薬品の識別に色、形などの外観が重要であることを、具体例を挙げて説明できる。	2.19
30	△ 錠剤の粉碎、およびカプセル剤の開封の可否を判断し、実施できる。(知識・技能)	2.19
33	△ 患者に使用上の説明が必要な眼軟膏、坐剤、吸入剤などの取扱い方を説明できる。	2.19
35	△ お薬受け渡し窓口において、薬剤の服用方法、保管方法および使用上の注意について適切に説明できる。	2.19
45	細胞毒性のある注射剤の調剤について説明できる。	2.19
47	調剤された注射剤に対して、正しい鑑査の実務を体験する。(技能)	2.19
53	△ 職務上の過失、過誤を未然に防ぐための方策を提案できる。(態度)	2.19

7-1 平成 30 年度 2 期成績分布

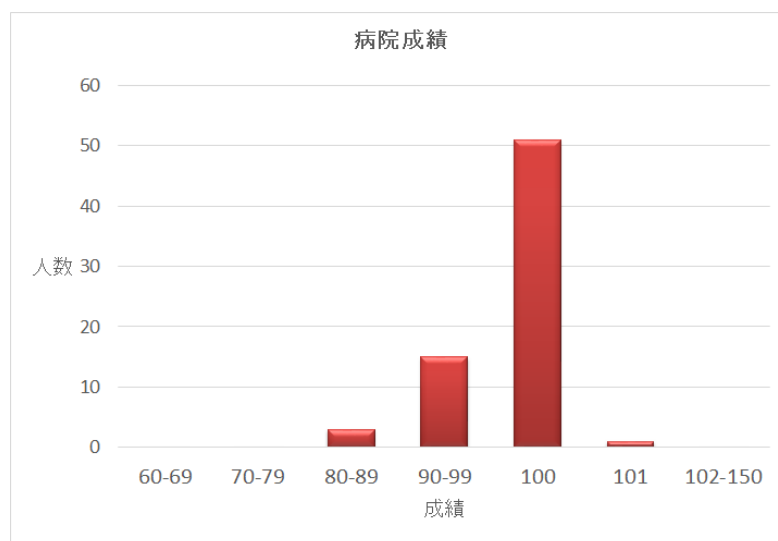
薬局

成績	人数	%
60-69	1	1.4
70-79	2	2.7
80-89	3	4.1
90-99	21	28.8
100	41	56.2
101	4	5.5
102-150	1	1.4



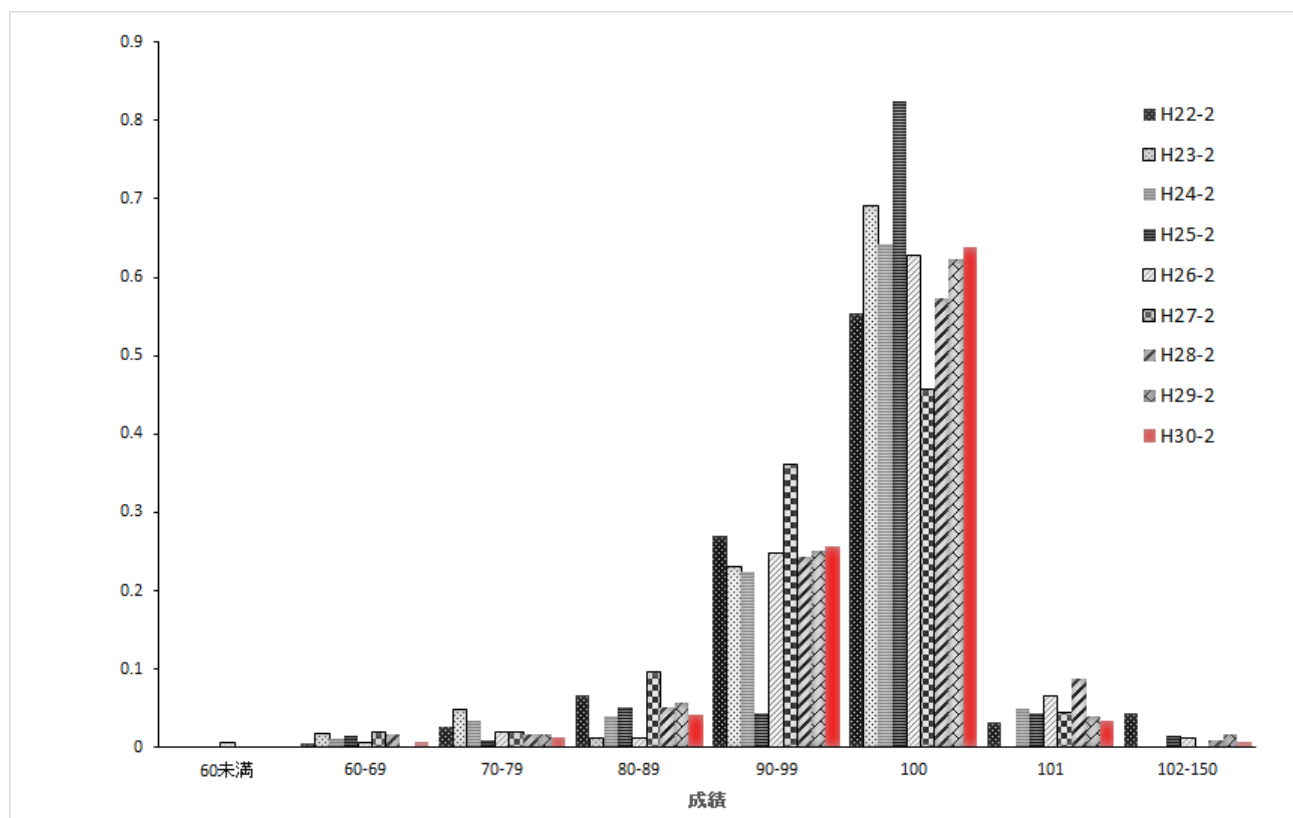
病院

成績	人数	%
60-69	0	0.0
70-79	0	0.0
80-89	3	4.2
90-99	15	21.1
100	51	71.8
101	1	1.4
102-150	0	0.0



7-2 平成 22 年度から平成 30 年度の各 2 期の成績比較（薬局+病院）

成績	H22 -2期	H23 -2期	H24 -2期	H25 -2期	H26 -2期	H27 -2期	H28 -2期	H29 -2期	H30 -2期
60-69					0.7%				
70-79	0.5%	1.8%	1.1%	1.4%	0.7%	1.9%	1.7%		0.7%
80-89	2.7%	4.8%	3.4%	1.0%	2.0%	1.9%	1.7%	1.7%	1.4%
90-99	6.6%	1.2%	3.9%	5.2%	1.3%	9.7%	5.2%	5.7%	4.2%
100	26.9%	23.0%	22.3%	4.3%	24.8%	36.1%	24.3%	25.1%	25.7%
101	55.5%	69.1%	64.2%	82.4%	62.7%	45.8%	57.4%	62.3%	63.9%
102-150	3.3%		5.0%	4.3%	6.5%	4.5%	8.7%	4.0%	3.5%



8-1 実習態度（平成30年度2期 144名）

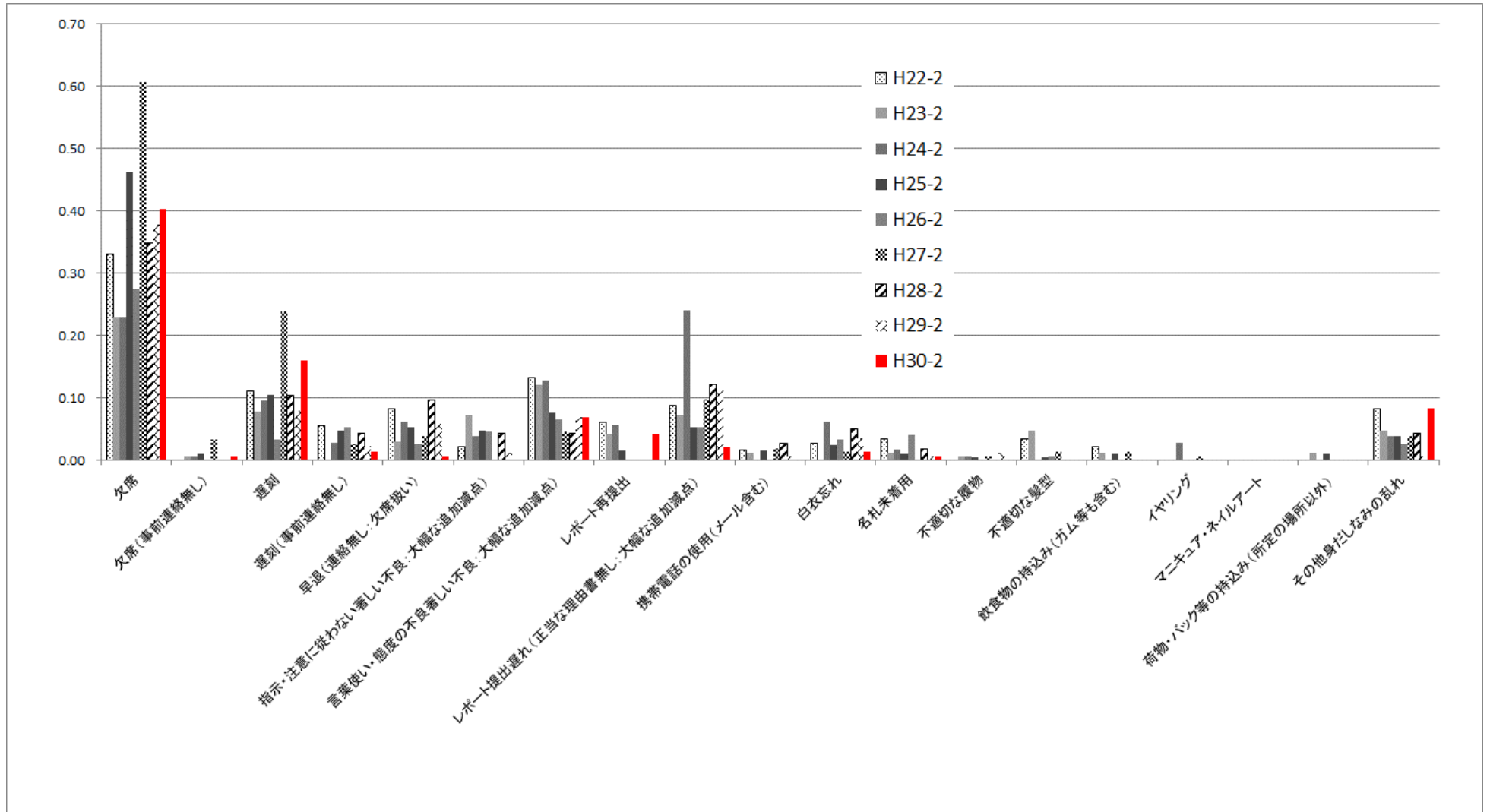
項目	薬局				病院				合計 回数	合計 人数	総平均
	人数	回数	最大値	平均	人数	回数	最大値	平均			
欠席	16	33	6	0.45	13	25	4	0.35	58	29	0.40
欠席(事前連絡無し)	1	1	1	0.01					1	1	0.01
遅刻	9	20	8	0.27	3	3	1	0.04	23	12	0.16
遅刻(事前連絡無し)	1	1	1	0.01	1	1	1	0.01	2	2	0.01
早退(連絡無し:欠席扱い)	1	1	1	0.01					1	1	0.01
指示・注意に従わない(著しい 不良:大幅な追加減点)											
言葉遣い・態度の不良(著しい 不良:大幅な追加減点)	4	8	5	0.11	1	2	2	0.03	10	5	0.07
レポート再提出	2	4	3	0.05	2	2	1	0.03	6	4	0.04
レポート提出遅れ(正当な理由 書無し:大幅な追加減点)	2	3	2	0.04					3	2	0.02
携帯電話の使用(メール含む)											
白衣忘れ	2	2	1	0.03					2	2	0.01
名札未着用	1	1	1	0.01					1	1	0.01
不適切な履物											
不適切な髪型											
飲食物の持込み (ガム等も含む)											
イヤリング											
マニキュア・ネイルアート											
荷物・バック等の持込み (所定の場所以外)											
その他身だしなみの乱れ	2	12	11	0.16					12	2	0.08

(平均=回数/総人数)

8-2 実習態度推移（平成 22 年度から平成 30 年度の各 2 期の比較）

項目	H22.2	H23.2	H24.2	H25.2	H26.2	H27.2	H28.2	H29.2	H30.2
欠席	0.33	0.23	0.23	0.46	0.27	0.61	0.35	0.38	0.40
欠席(事前連絡無し)		0.01	0.01	0.01		0.03			0.01
遅刻	0.11	0.08	0.09	0.10	0.03	0.24	0.10	0.08	0.16
遅刻(事前連絡無し)	0.05		0.03	0.05	0.05	0.03	0.04	0.02	0.01
早退(連絡無し:欠席扱い)	0.08	0.03	0.06	0.05	0.03	0.04	0.10	0.06	0.01
指示・注意に従わない(著しい不良:大幅な追加減点)	0.02	0.07	0.04	0.05	0.05		0.04	0.01	
言葉遣い・態度の不良(著しい不良:大幅な追加減点)	0.13	0.12	0.13	0.08	0.07	0.05	0.04	0.07	0.07
レポート再提出	0.06	0.04	0.06	0.01					0.04
レポート提出遅れ(正当な理由書無し:大幅な追加減点)	0.09	0.07	0.24	0.05	0.05	0.10	0.12	0.11	0.02
携帯電話の使用(メール含む)	0.02	0.01		0.01		0.02	0.03	0.01	
白衣忘れ	0.03		0.06	0.02	0.03	0.01	0.05	0.03	0.01
名札未着用	0.03	0.01	0.02	0.01	0.04		0.02	0.01	0.01
不適切な履物		0.01	0.01	0.00		0.01		0.01	
不適切な髪型	0.03	0.05		0.00	0.01	0.01			
飲食物の持込み(ガム等も含む)	0.02	0.01		0.01		0.01			
イヤリング			0.03			0.01			
マニキュア・ネイルアート									
荷物・バック等の持込み(所定の場所以外)		0.01		0.01					
その他身だしなみの乱れ	0.08	0.05	0.04	0.04	0.03	0.04	0.04	0.01	0.08

実習態度推移グラフ



8-3 減点の多い学生の詳細な成績（平成30年度2期）

施設	減点合計	欠席	欠席 (事前連絡無し)	遅刻	早退 (連絡無し：欠席扱い)	言葉遣い・態度の不良	レポート再提出	レポート提出遅れ(正当な理由無し)	白衣忘れ	その他身だしなみの乱れ	努力点	合計点
薬局	72	6	1	8				2			32	60
	43	2								11	20	77
	25					5						75
	23			1		1	3				10	87
	18	3								1		82
	18	3			1						5	87
	18	3							1		12	94
	15	2				1					12	97
	15	2						1			10	95
	12			4							2	90
	10	2										90
	10	2									2	92
10	2										90	
病院	20	4										80
	20	4										80
	13	2		1								87
	10	2										90
	10	2										90

9. 実習中のトラブル事例（平成30年度2期）

〔中絶〕

なし

● 薬局からの報告

〇〇先生にお話しした通り、やる気のない態度（本人にやる気があるのかもしれませんが）、本人が気が付かないうちに行っている溜息や、嫌そうな態度がとても気になりました。

「やる気を出してね」とは言いませんでしたが、「なるべく明るく」「しっかりと返事をして」などこまごまと言わせていただきました。

他にも、眼鏡をしっかりとかけない、手をなめる、手の皮をむく、口をくちやくちやさせる、目線を合わせない、落ち着かない態度等々、本人には何度も言いましたし、他のスタッフも声をかけていましたが、治る様子はありませんでした。

逆に私やスタッフが何度もいうことで、逆にストレスになっているような感じもありましたので、途中から言うことはやめてしまいましたが、改善は見られませんでした。とても残念です。

私たちが言ったことが、本人の心に響いていないような感じも受けました。

患者さんの前に手を出すこともあるので、アトピーの治療を是非するようにと言いましたが、やっていないようでしたので、それも残念です。

やはりコミュニケーション能力がかなり乏しく、実際に服薬指導ができたのは4人でした。目を合わせない、言葉遣いがぶっきらぼう、声の大きさの調節ができない（場に合わせた声の大きさがわからない）など、人と話すことがとても苦手なようです。

普段もスタッフとは必要最低限の会話しかせず、何も話していませんでした。

「普通のこと」ができない印象です。

その「普通のこと」は、本来ならば大学ではなく、各家庭で教わること、しつけられることだと思えます。

事前実習や、大学での各実習だけでは直らないことだとも思えます。

また、本人の気持ちが根本から変わらないと、変えられないことだとも思えます。

この度は、私の力不足で本当に申し訳ありません。

評価について何かありましたら、お電話ください。

今後とも、よろしくお願ひします。